宣言

都下各新聞社對正進會爭議に對する

九月廿六日の報知新聞社事件に端を發したる都下各新聞社對新聞工組合正進會の爭議は、其の後、無誠意なる資本主側の態度によつて益々擴大し、東京日々新聞社に於ける文選工全部の無言退社(九日)となり、讀賣新聞社に於ける植字文選工大多數の罷工(十日)となり、更に他社にも及ばんとする形勢にあり。事の顚末を聞くに、昨年の罷工慘敗の後を受けて市內一般印刷工に比し格段なる薄遇の下に今日まで隱忍し來たれる正進會々員が、其所屬各社に對して豫て提出しありし八時間二部制の要求を此の際完全に實現せしむべく報知新聞社事件を機會に活動を始めたるに此の**正當なる要求を完全に容れたるは今日迄の處萬朝報社**の一社のみにして『日々』『讀賣』の二社は、財界恐慌の影響を受けて不安を感じつゝある勞働者の現狀を逆に利用し、高壓手段に出でゝ一擧に我が勞働者を帽伏せしめ、徐に組合切崩しを策するところ總て最近に於ける諸他の勞資紛議とその軌を一にし、而して報導の機敏と批評の嚴正とを以て社會の木鐸たるべき新聞は、その資本主義的組織力を利用して、罷業の眞相を社會に祕し、世人をして是非を判するの資料を曾無ならしめ、以て多數の勞働者を闇から闇に葬り去らんとする陰險陋劣最も惡むべきものあり、斯の如きは正義と人道とを念とする何人と雖も堪ふる能はざる所、況んや吾等同じ階級意識に於て團結し聯合する同盟會は、我が肉身の一部たる正進會のかゝる逆境を座視すべからず、全勞働階級の名に於て、起つて彼等橫暴なる資本家と戰ひあらゆる手段によつて此の正當なる要求を貫徹せんが爲に茲に斷乎として宣言す。

勞働組合同盟會は組合の一員たる正進會の罷業を極力援助せんことを期す。

來れ、全國の勞働者よ、來つて吾等と行動を共にせよ。

大正九年十月十三日

勞働組合同盟會

紡績勞働組合
汎勞會
啓明會
新聞工組合正進會
日本印刷工組合信友會
大進會
日本鑛夫總同盟

東京電氣及機械鐵工組合
工人會
日本交通勞働組合
工友會
東京鐵工組合
愛友會